

めざせ最強横綱！

すくい背負い上げ～！！

第26回カブト虫相撲大会 鹿児島場所

7月20日（日）、町総合体育館において、『カブト虫相撲大会』が開催されました。

県内外から小学生や園児ら約500人が参加し、自慢のカブト虫が熱戦を繰り広げました。

この大会は、子どもたちに自然の大切さを知ってもらおうと社会福祉法人愛生会が主催したもので、今年で26回目を迎えました。

競技は、クヌギの丸太（直径20cm）の上で勝負する『相撲の部』、いかに早く走るかを競う『競歩の部』、1本の綱の上を渡りきる早さを競う『綱渡りの部』、カブト虫にミニカーを引かせる『力くらべの部』で勝負が展開されました。

メイン種目となる『相撲の部』では、行司の「はっつけよいのこった！」の声で取組が始まると、親方となった子どもたちは、カブト虫に向かって『頑張れ！』『いけ、いけ！』と声援を送り、取組を見守りました。カブト虫同士が角を突き合わせて、相手を押し出す『突き出し』や『ならみ出し』などの技が次々に繰り出されるなど、見ごたえのある取組が多数あり、また、大会を一番盛り上げたのは、頭部の下に角を入れて投げる『背負い上げ』で、技が決まると大人も子どもも大興奮し、会場全体から歓声が沸き起こりました。

今年も、カブト虫相撲大会は子どもたちにとって楽しい思い出となったようです。



▲綱渡りの部



▲相撲の部



▲大会会場の様子



相撲の部総合優勝
宮崎 優太くん
(志布志小2年生)

宮崎くんの優勝コメント
「優勝できて本当にうれしいです。」



▲力くらべの部



▲競歩の部